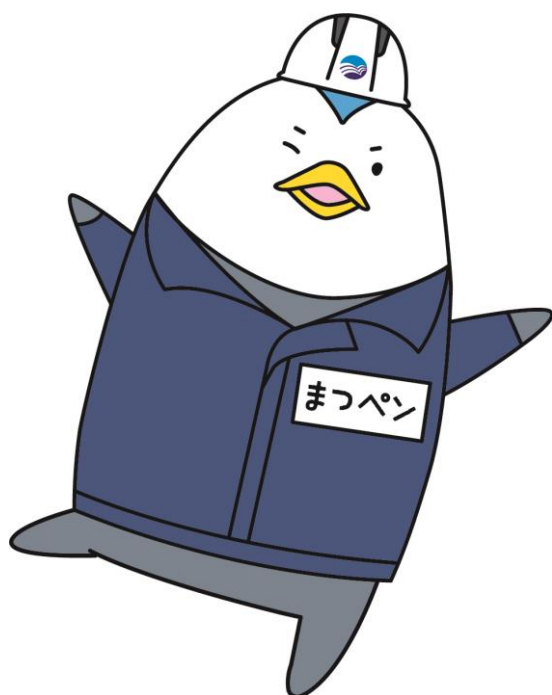


エコアクション21 環境経営レポート



株式会社 松井組 マスコットキャラクター
「まつペン」

◆ 第61期：令和5年6月1日～令和6年5月31日 ◆
令和6年10月3日 作成



株式会社 松井組

目次

環境経営方針（環境理念・行動指針）	【 1 】
組織の概要	【 2 】
環境経営システム実施体制	【 3 】
環境負荷の実績と環境経営目標	【 4 】
主要な環境経営計画	【 5 】
作業所の主要な環境経営	【 6 】
環境取組期間の実績及び評価と次年度の取組内容	【 7 】
代表者による全体評価と見直し結果	【 8 】
環境関連法規への違反、訴訟等の有無	【 9 】



環境経営方針

◆ 環境理念

当社は、地球温暖化や、資源の枯渇など、ますます深刻化する環境問題を真摯に受け止め、今後の重要課題との認識に立ち、建設活動及び携帯電話、書籍の販売を通して環境への影響を的確に捉え、環境負荷の低減をはかるために、全社員一丸となって自主的、積極的に環境保全活動に取り組めます。

◆ 行動指針

1. 事業活動に関する環境関連法規及びその他要求事項を遵守します。
2. 次の事項について環境経営目標・環境経営計画を定め、継続的な改善に努めます。

① 二酸化炭素排出量（低炭素社会への対応）

- ・電力の使用量の削減
- ・燃料の使用量の削減

② 廃棄物排出量（循環型社会への対応）

- ・一般廃棄物の削減
- ・産業廃棄物3R（削減、再利用、再使用）の推進

③ 総排水量（水資源の保全）

- ・水（事務所、作業所）の使用量の削減

④ 社会貢献

- ・グリーン製品の購入
- ・地球環境に配慮した工事に努めるとともに自治体に提案
- ・省エネ型製品の販売促進
- ・顧客への環境啓蒙の推進

3. 環境への取り組みを環境経営レポートとして取りまとめ公表します。

平成 22 年 12 月 1 日 制定

平成 29 年 8 月 30 日 改訂

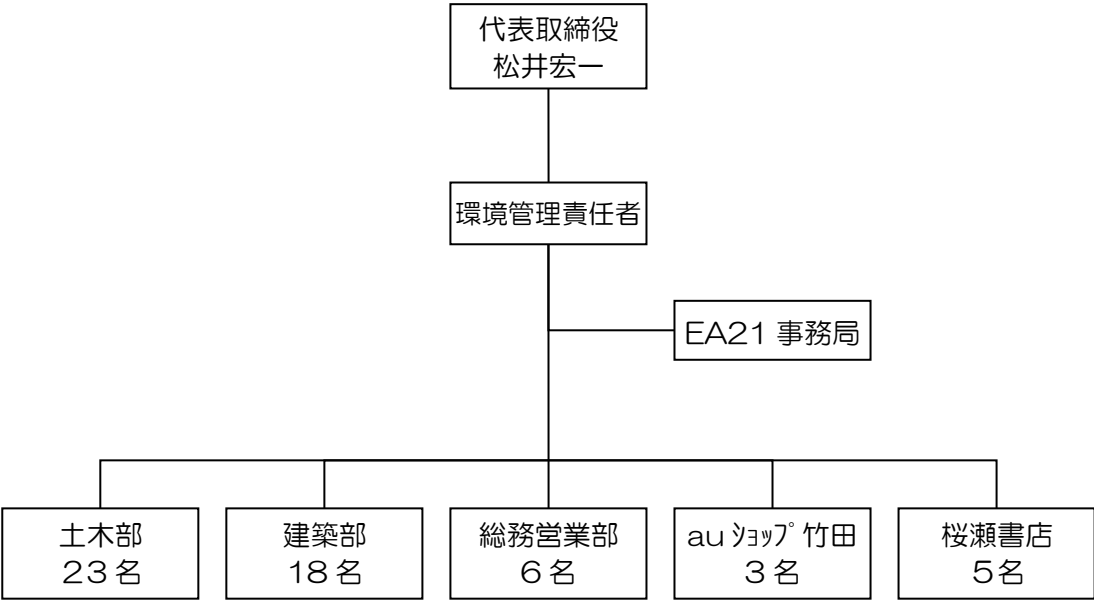
株式会社 松 井 組

代表取締役 松 井 宏 一

組織の概要

事業 者 名	株式会社 松井組
代 表 者	代表取締役 松 井 宏 一
所 在 地	
本 社	878-0025 大分県竹田市大字拝田原 188 番地
資材置場（無人）	878-0023 大分県竹田市大字君ヶ園 365 番地 1
auショップ	878-0025 大分県竹田市大字拝田原 771 番地 1
桜瀬書店	878-0025 大分県竹田市大字拝田原 776 番地 3
創 業	大正 3 年 5 月
設 立	昭和 38 年 11 月
資 本 金	4,125 万円
建 設 業 許 可	大分県知事 許可（特-2）第 6713 号 土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、 解体工事業
	大分県知事 許可（般-2）第 6713 号 大工工事業、左官工事業、石工事業、屋根工事業、管工事業、 鋼構造物工事業、浚渫工事業、塗装工事業、防水工事業、 内装仕上工事業、建具工事業、水道施設工事業、 消防施設工事業、
そ の 他 許 可	一級建築士事務所 大分県知事登録第 01S-11083 号 宅地建物取引業 大分県知事（12）1003 号 JIS Q 9001:2015/ISO 9001:2015 JIQQA-1138
事 業 内 容	土木・建築工事の企画・設計及び施工、不動産の売買並びに賃貸、 携帯電話販売、書籍販売
事 業 規 模	売上高 2, 631,300（千円）（令和 6 年 5 月末） 従業員 57 人（令和 6 年 5 月 31 日現在） 事務所床面積 495.77 m ² au ショップ 面積 104.25 m ² 桜瀬書店面積 571.19 m ²
事 業 年 度	期首 6 月～期末 5 月
連 絡 先	環境管理責任者 原 田 哲 士 EA21 事務局 甲 斐 竜 郎 大分県竹田市大字拝田原 188 番地 TEL 0974-63-3245 FAX 0974-63-2314 E-mail：info@matsuigumi.co.jp
備 考	本社内に以前に賃貸の管理業務をしていた株式会社アルファ企画 の 1 室がありますが、現在は松井組に包括したため、無人で事業の 実態はありません。環境負荷もありません。

環境経営システム実施体制



◇ 役割・責任・権限 ◇

代表者（社長）	環境経営に関する統括責任 環境管理責任者の任命 環境経営方針の策定、見直し 環境経営目標、環境経営計画書の承認 環境経営レポートの承認 全体の評価と見直し
環境管理責任者	環境経営システムの構築、実施、管理 環境経営目標、環境経営計画書の確認 環境経営の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
EA21 事務局	環境管理責任者の補佐 環境経営目標、環境経営計画書の作成 環境経営レポートの作成、公開 環境経営システムの事務管理
各部門責任者	各部門において環境経営システムの計画、実施、達成状況の報告 教育訓練の実施 問題点の発見、是正、予防処置の実施 苦情の受付
全従業員	環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 決められたことを守り、自主的積極的に環境経営へ参加

環境負荷の実績と環境経営目標

環境負荷と環境経営目標

項目	基準値	環境経営目標(前年度比 1%削減)		
	令和3年度 R3.6~R4.5	令和4年度 R4.6~R5.5	令和5年度 R5.6~R6.5	令和6年度 R6.6~R7.5
二酸化炭素排出量 電気使用量の削減	84, 598 (Kg-CO ₂)	83, 752 (Kg-CO ₂)	82, 914 (Kg-CO ₂)	82, 084 (Kg-CO ₂)
二酸化炭素排出量 ガソリン使用量の削減	134, 704 (Kg-CO ₂)	133, 357 (Kg-CO ₂)	132, 023 (Kg-CO ₂)	130, 703 (Kg-CO ₂)
二酸化炭素排出量 軽油使用量の削減	271, 986 (Kg-CO ₂)	269, 266 (Kg-CO ₂)	266, 573 (Kg-CO ₂)	263, 907 (Kg-CO ₂)
二酸化炭素排出量 灯油使用量の削減	17, 975 (Kg-CO ₂)	17, 795 (Kg-CO ₂)	17, 617 (Kg-CO ₂)	17, 441 (Kg-CO ₂)
廃棄物排出量 一般廃棄物の削減	分別活動実施 100%	分別活動実施 100%	分別活動実施 100%	分別活動実施 100%
廃棄物排出量 建設リサイクルの推進	3, 407 (t)	3, 373 (t)	3, 339 (t)	3, 306 (t)
廃棄物排出量 産業廃棄物の再資源化率	96.1%	95%	95%	95%
総排水量 水使用量の削減	2, 853 (m ³)	2, 824 (m ³)	2, 796 (m ³)	2, 768 (m ³)
社会貢献 グリーン製品の購入	100%	対象商品購入 100%	対象商品購入 100%	対象商品購入 100%
社会貢献 環境に配慮した工事	全工事	全工事	全工事	全工事
社会貢献 ボランティア活動への参加	3回	5回/年	7回/年	7回/年
社会貢献 顧客への環境啓蒙活動	ホームページ活用	ホームページ活用	ホームページ活用	ホームページ活用

(注記) 削減の基準は、令和元年度とする。

電気のCO₂排出係数は、九州電力の2021年調整後排出係数0.453を使用した。

主要な環境経営計画・評価

項目	活動内容	事務所	作業所	au 桜瀬書店
二酸化炭素排出量	昼休みの消灯	○	○	○
	不必要な電気の消灯	○	○	○
	不使用時 OA 機器の電源 OFF	○	○	○
	空調設備の温度調節	○	○	○
	開店前、閉店後の節電	—	—	○
	アイドリングストップの推進	○	○	—
	タイヤの空気圧の定期点検	○	○	—
	法定速度の遵守	○	○	—
	エコドライブの推進（急発進、急停止の禁止）	○	○	—
廃棄物排出量	社内情報のペーパーレス化	○	—	—
	両面コピーの徹底	○	○	—
	一般廃棄物の分別の徹底	○	○	—
	産業廃棄物の3R	○	○	—
総排水量	節水の推進	○	○	○
	漏水の点検	○	○	○
グリーン購入	再生紙の購入	○	○	○
	グリーン商品リスト掲載品の購入	○	○	○
環境に配慮した工事	大気汚染、水質汚濁、土壌汚染の防止	—	○	—
	騒音・振動発生の防止	—	○	—
	産業廃棄物の排出抑制・再資源化	—	○	—
	希少動植物の生息・生育地の保全	—	○	—
省エネ型製品 の販売推進	商品知識の習得	—	○	—
	ターゲットの選定及び顧客リストの活用	—	○	—
顧客への 環境啓蒙の推進	店内掲示板の活用	—	—	○
	ホームページの活用	○	—	—

○：できた △：一部できた ×：できなかった

環境経営目標以外の環境経営（工事現場）

- 施工計画書の環境配慮事項を良く確認して遵守する。
- 乳剤などの化学物質は注意書きを良く理解して使用する。
- 工事終了後の後始末を実施する。

作業所の主要な環境経営計画

項目	活動内容	評価
二酸化炭素排出量 (騒音、振動)	施工機械は排出ガス対策第 2 次以上を使用し、燃料消費量を抑え、二酸化炭素の排出量を抑制する	○
	工務車両、工事車両はエンジンオイル、オイルフィルターの交換は 7 千 km を目安に交換し、車両の走行状態を最良に保つ	○
	工事の情報化施工を積極的に取り組み省力化に努める	○
	過積載をなくし、車両に余分な負担をかけないようにする	○
廃棄物規制	コンクリート構造物、コンクリート舗装、アスファルト舗装の施工は寸法管理を的確に行い材料ロス率を減らし、打設ロスをなくす(ロス分は将来取り壊し時の廃棄物量を増やし、余りは産業廃棄物となるため)	○
総排水量	現場内の散水作業は状況をよく把握し、必要以上の散水はしない	○
	コンクリートの散水養生は、社内の特殊養生シートを使用し、散水の回数を削減する	○
	アスファルト舗装の転圧締固めは気温の状況を見極め必要以上の散水はしない	○
グリーン購入	工事の特殊性がなく評定点アップにつながる工事等、工事の特性によっては 2 次製品のグリーン購入を検討する	○
環境に配慮した工事	現場の環境に配慮した機械の選定、施工時間帯、工法の変更を請負先(監督官庁)と協議し施工する a、機械の選定・・・低騒音の機械を使用する b、朝夕の開始、終了時刻の変更等 工事の並行作業の可能性、工期短縮による早期の竣工 光触媒塗料、光触媒フェンスの使用推進	○
土壌汚染	セメント系固化材、鉋さいを使用する際は各種試験を実施し、土壌の安全性を確認する	○
地域貢献	環境経営に積極的に参加する(各種ボランティア活動)	○
	作業所の地域の行事に参加する	○
	作業所ごとに環境経営目標を設定し、実行する	○

環境取組期間の実績及び評価と次年度の取組内容

環境経営目標と取組実績

項目	目標値	実績	達成度
1.CO ₂ 排出量	499,127kg-CO ₂	329,385kg-CO ₂	151%
電気使用量	82,914kg-CO ₂	69,596kg-CO ₂	119%
（内訳）事 務 所	11,953kg-CO ₂	11,625kg-CO ₂	103%
作 業 所	36,074kg-CO ₂	31,906kg-CO ₂	113%
auショップ	6,613kg-CO ₂	4,782kg-CO ₂	138%
桜瀬書店	28,275kg-CO ₂	21,282kg-CO ₂	133%
ガソリン使用量	132,023kg-CO ₂	117,730kg-CO ₂	112%
（内訳）事 務 所	114,892kg-CO ₂	109,977kg-CO ₂	104%
作 業 所	17,131kg-CO ₂	7,753kg-CO ₂	221%
軽油使用量	266,573kg-CO ₂	131,219kg-CO ₂	203%
（内訳）事 務 所	17,474kg-CO ₂	15,177kg-CO ₂	115%
作 業 所	249,100kg-CO ₂	116,041kg-CO ₂	214%
灯油使用量	17,617kg-CO ₂	10,840kg-CO ₂	162%
（内訳）事 務 所	10,196kg-CO ₂	7,703kg-CO ₂	132%
作 業 所	7,421kg-CO ₂	3,137kg-CO ₂	237%

（評価と次年度の取組内容）

全体でのCO₂排出量は目標値に対して151%の達成となった。ガソリン使用料、軽油使用料、灯油使用量の作業所での達成度については受注した工事の内容や件数等が大きく影響していると考えています。

今後の取組みとして、工事量、工事の内容によってコントロールの難しい部分もありますが社員一人ひとりの環境への意識付けを深めていきます。

項目	目標値	実績	達成度
2.産業廃棄物排出量	3,339t	3,657t	91%
産業廃棄物再資源化率	95%	98.8%	達成
一般廃棄物分別実施	100%	100%	達成

（評価と次年度の取組内容）

産業廃棄物の排出量については受注工事の内容に伴い、大きく変わってしまうので再資源率を意識しています。再資源化率は目標値を達成することが出来ました。分別排出については、社員一人一人の取組が反映された結果だと感じています。

来年度以降も再資源化率の目標達成出来るように取り組んでいきます。

今後も3R活動の推進の為、廃棄物の分別排出に関する社内ルールを全社員に周知徹底し、廃棄物の削減、再資源化に努めます。

環境経営取組期間の実績及び評価と次年度の取組内容

環境目標と取組実績

項目	目標値	実績	達成度
3.水使用量	2,796m ³	545m ³	513%
(内訳) 事務所	225m ³	186m ³	121%
作業所	2,532m ³	350m ³	723%
auショップ	21m ³	12m ³	115%
桜瀬書店	18m ³	16m ³	113%

(評価と次年度の取組内容)

目標値は令和3年度の使用量をもとに設定しているが令和3年度の使用量が多かったため、達成度が500%を超える達成となっている。昨年度と比較しても節水に取り組めている。

これからも節水を呼びかけ、無駄をなくしていくよう、全社員に徹底していきます。

項目	目標値	実績	達成度
4.社会貢献			
グリーン購入	100%	100%	達成
環境に配慮した工事	全工事	全工事	達成
ボランティア活動への参加	3回／年	3回	達成
顧客への環境啓蒙の推進	ホームページの活用	2回掲載	達成

(評価と次年度の取組内容)

現場毎に環境に配慮した工事が行い、公共工事において今年度も多くの表彰を頂くことができました。

ボランティア活動等については例年同様に参加、取り組みを行いました。

今後も社会貢献活動やホームページ等を活用して知名度アップ、社員の採用活動につながるよう努力します。

代表者による全体評価と見直しの結果

令和6年5月で創業110周年を迎えることが出来ました。これまで支えていただいたお客様、地域の皆様、ご関係の皆様に深く感謝するとともに、今後も皆様に必要とされる会社を目指していきたいと考えています。

エコアクション21に取り組むようになってから10年以上が経過し、社内や現場事務所において、昼休みの消灯が定着してきたことを改めて実感しています。また、一人ひとりが環境に配慮した行動をとれるようになってきました。環境経営に関しましてこれまでの活動を継続するとともに必要に応じて改善を行い、地域の皆さまに信頼される会社となるよう努力することを目標とします。

環境経営方針・環境経営目標・環境経営計画は今年度も変更せず継続します。

令和6年9月26日

代表取締役 松井 宏一

環境関連法規への違反、訴訟等の有無

令和6年7月31日 作成

評価者：原田 哲士

当社に適用される環境関連法規の遵守状況

下表の通り環境関連法規を遵守しており、違反はありません。また関係当局よりの違反等の指摘も過去5年間ありません。

環境関連訴訟等に関して過去5年間に1件も発生しておりません。同じく苦情に関しても1件も発生しておりません。

法規制等	適用条項	遵守すべき要求事項	実施時期	遵守評価
廃棄物処理法	第11条 第12条	委託契約、許可証の写し 保管基準（表示・飛散防止） マニフェスト交付、保管、報告 状況報告書の提出 自社運搬時の表示、マニフェストの携行 特別管理産業廃棄物（保管基準・委託基準）	年1回 新規交付時、5年 6月末	○ ○ ○ ○ ○
建設リサイクル法	第9条 第10条 第16条	対象工事の届出 分別解体、再資源化の実施 再資源化等の書面での実施報告、保管	工事開始7日前まで 工事完了後	○ ○ ○
家電リサイクル法	第43条	管理票を発行し、確実な運搬の確保	収集時	○
大気汚染防止法	第10条	特定施設設置における届出 排出基準の遵守	設置前	該当なし
水質汚濁防止法	第5～7条 第14条	特定施設設置における届出 測定及び記録 排出基準の遵守	設置前	該当なし
騒音規制法	第14条	特定施設設置における届出 規制基準の遵守	工事開始30日前まで —	該当なし
振動規制法	第14条	特定施設設置における届出 規制基準の遵守	工事開始30日前まで —	該当なし
土壌汚染対策法	第3～5条 第16～20条	土壌汚染状況の調査 土壌汚染による健康被害の防止措置 汚染土壌を排出する者の義務(届出,委託,管理)	着手14日前	該当なし
浄化槽法	第5,11条 第7条 第12条 第9条	特定施設の届出 法定検査 定期点検 定期清掃	設置時 年1回 年1回 3ヶ月に1回	○ ○ ○ ○
フロン排出抑制法		特定製品の定期点検	3ヶ月に1回	○

※ 各部門長が毎年5月に関連する法規のチェックをする。